

大手町・丸の内・有楽町地区のエリアマネジメント ～東京駅周辺エリアにおけるサステイナブルデベロップメントの取り組み～

■取組主体

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会

一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会

■活動場所

東京都千代田区

■概要

官民が連携して、「経済」「社会」「環境」「文化」のバランスのとれたサステイナブルデベロップメントに取り組み、「公共空間活用」「安全・安心なまちづくり」「イノベーションの促進」の3つの視点から、当該地区の総合的開発事業をハード・ソフトの両面で推進している地区である。日常は道路上のオープンカフェに就業者や来街者など様々な人が集うことで交流が生まれ、時には都市観光に資するイベントで賑わう「多様な顔を持ったまち」として成長を続けている。

ビジネス中心に発展したエリアを、成熟期にふさわしい多様性に富んだミックスユースのエリアへと変貌・拡張させ、継続的な進化が図られている点に先進性が見られる。また、多数の事業者の連携や官民パートナーシップを通じた価値向上の手法など、世界の他都市にも大いに参考になる都市のリノベーションモデルに位置付けられる。公共空間の整備、サービスの共通化など新しい公共機能を民間の主導で行っていることは高付加価値型開発の先例としてふさわしい取り組みと言える。



国家戦略道路占用事業の適用区域に指定された丸の内仲通り



国際ビジネスセンターとして機能強化が進む大丸有地区